

公開講座－１

イラストで学ぶ漢方治療のサイエンス

北里研究所・東洋医学総合研究所

○花輪壽彦

漢方薬がいろんな病気の治療に有効であるといわれるようになって久しい。しかしどのように効くのか、何が効くのかはわからない部分が多かった。

西洋医学の立場からは「漢方は非科学的で信用できない」という人も未だに少なくない。漢方医学の立場からは「漢方は『未科学』であって、非科学的ではない」と反論してきた。

今日、漢方薬の効き方や有効成分の解明が着実に進んでいる。

ここでは私どもの研究所の研究成果を中心に、漢方治療にどのような科学の光があてられているかについてわかりやすく紹介する。

漢方治療を求めて来院される患者さんで最も多いのはアレルギー疾患である。アトピー性皮膚炎などを例に漢方治療の考え方や治療の実際、科学的根拠について述べる。

また漢方特有の病態の捉え方がある。「冷え症」や更年期障害を例に漢方治療の考え方や治療の実際、科学的根拠について述べる。

有効成分の解明も進んでいるので、漢方薬の複合作用の特徴について述べる。

漢方治療独特の考え方に『証』の考えがある。漢方治療を受けられる方に必要な漢方医学の基礎的知識を理解していただき、自ら治療に参加する意欲を高めていただきたい。